

# もっと知ってほしい **注意がんの**でと東京

# 3月は国際的な大腸がんの啓発月間です

2018年 3月3日(土)



東京医科歯科大学医学部附属病院 消化器化学療法外科/大腸・肛門外科 共催

東京医科歯科大学医学部附属病院 腫瘍センター

東京医科歯科大学大学院 応用腫瘍学講座

東京医科歯科大学大学院 未来がん医療プロフェッショナル養成プラン

認定NPO法人キャンサーネットジャパン

後援 東京医科歯科大学医師会/東京都/東京都医師会

日本癌治療学会/日本臨床腫瘍学会/大腸癌研究会/公益社団法人日本オストミー協会

NPO法人ブレイブサークル運営委員会/認定NPO法人西日本がん研究機構

# ● 講演プログラム ●





### 総合司会

石黒 めぐみ 東京医科歯科大学大学院 応用腫瘍学講座 (准教授)

1998年 東京医科歯科大学医学部卒業。同・第二外科入局。2005年7月~防衛医科大学校第一外科 助教、2008年7月~東京医科歯科大学大学院腫瘍外科学 特任助教。2014年10月~現職。大腸癌化学療法における多施設共同臨床試験のプロトコル作成・運営を多数手掛ける。2009年~大腸癌研究会 大腸癌治療ガイドライン作成委員。日経BP「がんナビー大腸がんを生きるガイド」他、一般向けWebサイトの監修なども行う。著書に『「大腸がん」と言われたら』(保健同人社)。

13:00 ~ 13:05 開会挨拶



三宅 智 東京医科歯科大学医学部附属病院 腫瘍センター センター長/総合がん・緩和ケア科 科長(教授)

1987年 東京医科歯科大学卒業。第1外科学教室入局。九段坂病院、太田西ノ内病院、友愛記念病院外科勤務の後、米国ダナ・ファーバーがん研究所留学。帰国後は埼玉県立がんセンター研究所、東京医科歯科大学 分子腫瘍医学分野、東北大学大学院医学系研究科で基礎研究に従事。2005年より友愛記念病院で化学療法と緩和ケアを担当。栃木県立がんセンター緩和医療部を経て、2012年5月より現職。大学院では臨床腫瘍学分野担当。

13:05 ~ 13:20 講演 1



### 15分で学ぶ! 大腸がんの基礎知識

植竹 宏之 東京医科歯科大学医学部附属病院 消化器化学療法外科 科長同大学院 総合外科学分野(教授)

平成元年 東京医科歯科大学医学部卒業、第二外科学入局。その後関連病院で消化器・一般外科のローテート。平成8年 同大学腫瘍外科学に帰学。平成11年~12年 南カリフォルニア大学ノリス癌研究所に留学。以後「手術と抗癌剤治療の組み合わせの最適化(オーダーメイド治療)」を研究テーマとしている。平成27年4月より東京医科歯科大学大学院総合外科学分野教授、医学部附属病院 腫瘍化学療法外科(現・消化器化学療法外科)科長。

大腸がんは、2017年のがん罹患数予測で1位を占める、いま日本人にとっていちばん身近ながんのひとつです。「標準治療」も確立しており、5年生存率が約70%の比較的予後の良いがんでもあります。本日の市民公開講座をより良く理解していただくために、まず初めに大腸がんの基本的なことについて、15分でコンパクトに解説します!

13:20 ~ 13:45 講演 2



# 大腸がんの手術治療 〜開腹手術からロボット手術まで〜

網笠 祐介 東京医科歯科大学医学部附属病院 大腸・肛門外科 科長同大学院 消化管外科学分野(教授)

1998年 東京医科歯科大学卒業、腫瘍外科学入局。2001年より国立がんセンター中央病院勤務。2006年より静岡県立静岡がんセンター勤務。2010年4月より同大腸外科部長。2017年9月より東京医科歯科大学大学院消化管外科学分野 教授、医学部附属病院大腸・肛門外科 科長。日本内視鏡外科学会技術認定医。日本ロボット外科学会評議員。大腸癌治療ガイドライン委員。専門は大腸がんの外科治療、腹腔鏡手術、ロボット手術。

大腸がんは、適切に手術がなされれば、比較的予後の良いがんです。従来の開腹手術に変わって腹腔鏡手術が増加していますが、進行がんに対して根治性を落とさずに腹腔鏡手術を行うには高度な技術を要します。腹腔鏡手術の欠点を補うことが出来る最新の治療がロボット支援手術です。国内でロボット直腸がん手術最多の実績を持つ医師が、ロボット手術について解説します。

### 13:45 ~ 14:10 講演 3

### 大腸がんの内視鏡診断・治療、最前線!

福田 将義 東京医科歯科大学医学部附属病院 光学医療診療部(助教)



2005年 東京医科歯科大学医学部医学科卒業。2007年 東京医科歯科大学消化器内科入局。2010年 東京医科歯科大学大学院入学し、腸管上皮幹細胞を用いた上皮再生に関する研究を行い学位を取得。2016年より現職。消化管腫瘍に対する内視鏡診断・内視鏡治療に従事している。

内視鏡は、大腸がんの診断・治療には欠かせない道具となっています。では、内視鏡って どんなことができると思いますか?

今や内視鏡は、病気を見つけるための道具ではありません。病気を見つけたら、それを詳細 に評価して診断を行い、さらには治療まで行うことができるようになっています。

本講演では、大腸がんに対する、診断・治療に関して、画像や動画をお示しいたします。 さらに、将来の展望として最前線の診療に関しても説明させていただきます。

14:10 ~ 14:30 休憩

### 14:30 ~ 14:45 講演 4

### 転移・再発のある大腸がんの治療方針 ~治療の目的を考える~

石川 敏昭 東京医科歯科大学医学部附属病院 消化器化学療法外科 同大学院 総合外科学分野(准教授)



1994年 東京医科歯科大学医学部医学科卒業。第一外科学教室に入局。1999年 大学院入学、大腸癌に対する免疫療法の研究で学位取得。2005年より東京医科歯科大学大学院応用腫瘍学講座助教、大学院腫瘍外科学分野助教、大学院総合外科学分野講師を経て、2017年4月より現職。

転移・再発のある大腸がんに対する化学療法(抗がん剤による治療)では、治療の目的を考えながら治療方針を立て、治療を行っていきます。患者さんが治療の目的を理解し、担当医と一緒に考えることは、最適な治療を行う上で大切です。化学療法の目的や、目的に応じた治療法の選択の仕方などを解説します。

14:45 ~ 15:05 体験談

### 肝臓切除への選択 ~希望と不安~

野城 郁郎



1965年生まれ。2011年に直腸がんステージ4と告げられてから、6年が経過しました。治療中は、常に自分の体と向き合うことで精一杯。しかし、徐々に体が回復することで、いろんな希望、前向きな気持ちが湧いてきます。またその反面、これからの生活への不安も膨らんできます。家族のこと、仕事のこと、経済的なこと。がん治療を通して、夫・父親として、また私の家族も、多くの経験をし、様々なことを感じ、学んだように思えます。

「肝臓切除、どうしますか?」この言葉をもらった時、色々なことが思い浮かんできました。「手術後の体調のこと」また「切除しない時は、どうなるのか?」など、不安や疑問が湧いてきたのです。そして、二者択一の中、手術を決断。その決断への理由は「自分らしく生き続けたい」という想いからでした。肝臓手術までの経緯や感じたこと、そして、手術後の体調の変化とその付き合い方を中心に、お話させていただきます。

15:05 ~ 15:30 講演 5

### 大腸がん肝転移に対する手術治療

齋浦 明夫 がん研有明病院 消化器外科 肝胆膵外科部長



平成5年3月 東京大学医学部医学科卒業、東大病院第二外科(現・肝胆膵、人工臓器移植外科) を経て平成15年7月より癌研病院消化器外科医員、平成20年5月より癌研有明病院肝胆膵外科 担当部長、平成27年5月 公益財団法人がん研有明病院肝胆膵外科部長。がん研病院での大腸癌 肝転移の手術経験数は1700件以上。

大腸がんは肝臓に転移することがよくありますが、転移してしまっても肝切除を行えば治すことができます。技術の進歩と抗がん剤の開発により、肝切除も安全になり、切除適応も広がっています。これまでの多数の患者さんの治療経験に基づき、最新の大腸がん肝転移の外科治療についてお話しします。

### 15:30 ~ 15:55 講演 6



### 大腸がん薬物療法のいま

室 圭 愛知県がんセンター中央病院 薬物療法部 部長/外来化学療法センター長

1990年 東北大学医学部卒業、1993年 国立がんセンター東病院レジデント、1997年 国立がんセンター中央病院スタッフ、2007年 名古屋市立大学大学院医学研究科非常勤講師、2007年 名古屋大学医学部大学院医学系研究科非常勤講師、2013年 東京大学大学院医学系研究科非常勤講師、2015年 名古屋市立大学大学院医学研究科臨床教授。大腸癌研究会幹事、「大腸癌治療ガイドライン」作成委員。

日本人の大腸がん患者が増えている中、その予防、早期発見と治療(内視鏡的切除や外科手術)が大腸がんの罹患数を減らし、根治を目指せる手段であることは言うまでもありません。残念ながらステージ4や術後再発の場合には、中心となる治療である薬物療法だけでは根治は期待できません。ただし、近年の薬剤の進歩により治療成績は格段に向上しております。大腸がんの薬物療法に関して、その進歩の内容と、治療しながら病気とうまくつきあっていく方法をお話ししたいと思います。

### 15:55 ~ 16:10 休憩



 $16:10 \sim 16:45$ 

【Q&Aトークセッション】 質問票にお答えします!

パネリスト:福田 将義/石川 敏昭/齋浦 明夫/室 圭/野城 郁郎



ファシリテーター

杉原 健一 東京医科歯科大学 名誉教授

1974年 東京大学医学部卒業、同第一外科 入局。1975年 東京厚生年金病院外科。1984年 東京大学医学部第一外科 助手。1985年 Imperial Cancer Research Fund (英国)研究員。 1987年 東京大学医学部第一外科。1989年 国立がんセンター外科。1997年 東京医科歯科大学 医学部外科学第二講座 教授。2004年 東京医科歯科大学大学院 腫瘍外科学 教授。日本外科学 会 元理事、日本消化器外科学会 元理事長。大腸癌研究会 会長、光仁会第一病院 院長。

16:45 ~ 16:50 閉会挨拶

杉原 健一 東京医科歯科大学 名誉教授



本日の講演内容は、後日 『Cancer Channel』等で 無料で視聴できます!

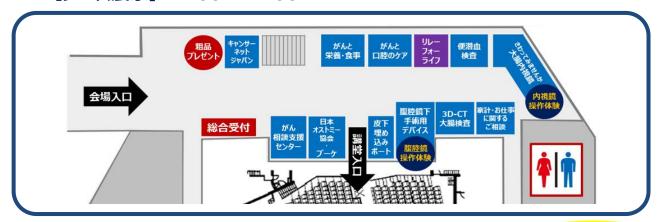


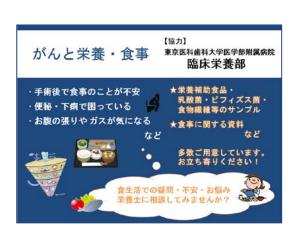
http://www.cancerchannel.jp/

# ▶ 出展ブースのご紹介 ●



【ブース展示】12:00~17:00





### ● がんと栄養・食事

試供品 多数 ご用意しています

東京医科嫩科大学医学部附属病院 臨床栄養部

「手術後で何を食べたら良いかわからない」 「下痢や便秘で困っている」 「ストマを作ってからの食事について詳しく知りたい」 など、食生活でお困りのこと、知りたいことはありませんか?

このブースに来ていただけば、毎日の食事の作り方や食べ方、 栄養補給のヒントが見つかるかもしれません。 食生活で不安やお悩みがある方、栄養士に聞いてみたいことがある方は 是非お越しください。

#### 東京医科歯科大学 東京医科歯科大学歯学部 口腔保健学科

MEDICON, INC.

CVポートで楽に薬剤を投与

・腕の血管を刺す必要がなくなります

・点滴を刺す時の痛みを緩和します

使用しないときは・・・・

お風呂に入ったり、運動をしたり

普段は皮膚の下にあり見えません

カテーテルを気にせず生活することができます

触って体験をしてみてください

### お口の楽しみ、支えます

(数量限定)

試供品あります!

がんの手術で、長い間食事ができないと、入れ歯があわなくなったり、 唇や舌など、食べるためのお口の機能が衰えてしまうことがあります。 また、がんの放射線治療や化学療法は、お口の痛み、乾き、汚れ、不 快感などのトラブルを引き起こすことがあります。このような、お口 の機能の低下によって、食事や会話という毎日の生活の楽しみが失わ

「お口を守ることは生命と生活を守ること」をテーマに、私達はお口 の楽しみを支えたいと考えています。今回は、がん治療にともなう、 お口の機能低下を支えるために、口から食べる力のリハビリ、お口の トラブルの予防策や対応策、入れ歯のお手入れの方法、便利なお口の ケア用グッズ、についてご紹介致します。

# ● 大腸がん治療の味方 皮下埋め込みポートって何?

株式会社メディコン

れやすくなります。

抗がん剤治療や高カロリー輸液の投与など在宅治療に便利な皮下埋め 込み型静脈ポート(CVポート)の展示を行っています。CVポートと は従来体外に露出していた薬剤投与の為のカテーテル(管)を皮下に埋 め込むことで、今まで入院でしか治療できなかった病気も通院しなが ら行う事が可能な優れた医療機器です。

展示ブースにて現物を用意しておりますので、普段目にする機会の少

ない機器に触れてみてください。 CVポート 針刺し体験あり!



大腸がん治療の味方の味式会社メディコン

人体模型に刺す体験が できます!

確認

薬の投与

/一トを 確保

CVポート

超音波凝固切開装置 腹腔鏡下手術トレーニング 操作体験あり!



#### ●腹腔鏡下手術用デバイス

機材協力:ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

近年、広がりを見せる腹腔鏡下手術では、より安全・確実に手術を行うために様々な器械を用います。代表的なものとして、お腹の中にアクセスするための「トロッカー」や、超音波の力を利用し、出血をおさえながら切る「超音波凝固切開装置」、胃や腸などを「切る」、「切った後に縫い合わせて閉じる」ということを同時に行う「自動縫合器」等が挙げられます。

本日は、それらの腹腔鏡下手術で実際に使用されている器械を展示しております。「超音波凝固切開装置」でお肉を切る体験ができるコーナーもご用意しておりますので、是非お立ち寄りください。

大腸内視鏡 操作体験あり!



【協力】 オリンパス・メディカルサイエンス販売 株式会社



### ● さわってみませんか? 大腸内視鏡

機材協力:オリンパス・メディカルサイエンス販売株式会社

大腸がんの診断・治療に欠かせない大腸内視鏡。

日本の内視鏡機器の性能は世界のトップクラスです!!

ブースでは、実際に使用されている最新の大腸内視鏡と大腸模型を使って、内視鏡操作の体験をしながら、大腸の構造を学ぶことができます。 診断・治療に使用するさまざまな処置具も展示します。

また、一部が透明になっている貴重な「スケルトンスコープ」も展示! 内視鏡内部の構造を学ぶことができます。



### ● 3 D-CT大腸検査

アミン株式会社

大腸の検査と言えば大腸内視鏡が思い浮かびますよね?でも、抵抗のある方もいらっしゃると思います。 最新の3D-CT大腸検査は、CTで撮影したデータから、患者さんの大腸そっくりそのままの立体CG映像を作成する、仮想内視鏡です。まるで本物の内視鏡のように大腸の中を見ることができるんです。しかもCGですから、視点の向きを自由に変えられるし、大腸を切り開いて全体を見渡すことも可能。

とっても楽ちん!痛くもない!つらくもない!新しい大腸検査です。

採便後は冷暗所にて保存してください。

### ●あなたの便、きちんと採れていますか? 便潜血検査(大腸がん検診)

アルフレッサ ファーマ株式会社

大腸がんの検診の時に、便を提出しますが、採便容器に便は正しく採れていますか? せっかく、検査に出したのに・・・。 便の量は、多すぎても少なすぎてもダメなのです。 便の採り方をよく読んで正しく採りましょう。 展示ブースでは、便を採る時の注意点を解かり易く説明します。

早期発見・早期治療のために1年に1回便潜血検査を用いた検診を受けましょう。



#### ● がん患者さんの家計・お仕事のご相談

特定非営利活動法人 がんと暮らしを考える会

がん患者さんが利用できる公的・民間の「お金」に関する制度の情報を調べることができます。知らないと利用できない/体調や症状が該当しないと利用できないなど少し難しい制度を簡単に調べることができる「がん制度ドック」をがんと暮らしを考える会のブースで体験してみましょう。

また当日は専門家(ファイナンシャルプランナー・社労士)による ミニ相談会も行います。

がんと暮らしを考える会は、ファイナンシャルプランナー・社労士・ 税理士・保険担当者・弁護士などが協力してがん患者さん仕事やお金 の問題の解決を目指して活動しています。



### ● がん相談支援センター活用のすすめ

東京医科歯科大学医学部附属病院 がん相談支援センター

がんと診断されたときの不安,治療・療養中に生じる悩みをひとりで 抱えていませんか?

誰かに話したり相談することで、気持ちが少し軽くなったり、思いを整理できる場合があります。また正しい情報は治療・療養の選択に際して、納得のできる決定をするための助けにもなります。がん相談支援センターと正しい情報は、がんと向き合うあなたの力になります!

- ★正しい情報の検索の方法をご紹介し、実際に体験できます。
- ★がんに関する資料・パンフレットもご用意しています。
- ★お近くの相談支援センターを検索できます。



### ● 公益社団法人 日本オストミー協会

● ブーケ (若い女性オストメイトの会)

オストメイトとは、大腸がんなどの病気や障害などが原因でお腹にストーマ(人工肛門・人工膀胱)を造設した人たちのことです。 病気の治療のために造設したストーマですが、外見からはわかりづら

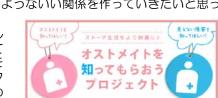
病気の治療のために造設したストーマですが、外見からはわかりつら い内部障害、そして、排泄の障害であることからカミングアウトは難 しく、職場や学校などあらゆる場面でつらい思い、肩身のせまい思い をしている方も少なくありません。

公益社団法人日本オストミー協会は、オストメイト(人工肛門・人工 膀胱保有者)が安心して暮らせる社会を目指すオストメイトによる オストメイトのための団体です。

手術後の社会復帰とQOLの向上をはかるための活動を行っています。 ストーマ装具の給付制度やオストメイト対応トイレの普及など、福祉 制度の充実のための働きかけをしています。

ブーケ(若い女性オストメイトの会)では、当事者同士が交流することでそれぞれが元気になれるようないい関係を作っていきたいと思っています。

また、オストメイトが暮らし やすい社会の実現に向けて 2014年より"オストメイトを 知ってもらおうプロジェク ト"を立ち上げ、活動を進め ています。





# ● 会場のご案内



## ● 飲食スペースのご案内

